

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	配水管漏水防止事業	所管	水道部 給水課
			TEL 2921-1082

事業の目的 (何の為に 行うか)	通常では発見が遅れてしまう地下漏水を発見し、有収率の向上を目指す。
------------------------	-----------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	配水管及び給水管の延長	対象とした数	936	km
		実際に 利用した数	448	km

活動の内容	(何を したか)	市内を東西に分けて、隔年で市内全域の道路及び宅地内の止水栓までの範囲の漏水調査を行う。道路に埋設されている水道管を路上より漏水探知器等により漏水を発見・確認し、漏水箇所を特定する。							
活動実績	項目名	漏水調査	45067	項目名	漏水調査	448	項目名		単位
			単位 件			単位 km			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	19,072	4,851	14,621	43.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	有収率	有収水量/配水量 × 100	100	98.01	98.0
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	110400	TEL	2921-1082		
事業コード	配水管漏水防止事業							
110402	水道部 給水課							
開始年度		昭和	57	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針				水道法・所沢市水道事業給水条例				
	関連・類似事業	漏水に伴う給水管布設替事業・導送配水管整備事業							
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	5節 上水道	中柱	2 安定供給の充実	小柱	(4) 漏水防止対策の推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 36 位		・実施計画における位置づけ…			H19	A	H20

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	通常では発見が遅れてしまう地下漏水を発見し、有収率の向上を目指す。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	配水管及び給水管の延長					漏水調査を行った配水管及び給水管の延長				
	対象数	単位	平成 18 年度	923	km	利用数	単位	平成 18 年度	488	km
		平成 19 年度	936	km			平成 19 年度	448	km	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input checked="" type="checkbox"/> >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点									

⑤経費	《会計種別》	企業会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		21,168	19,072	20,765
	決算 (見込み含む)		6,258	4,851	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.99 人 9,108	1.04 人 9,770	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		15,366	14,621	
	財源内訳	一般財源	15,366	14,621	20,765
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		45.5	43.1	
	利用数一単位あたり(単位:円)		31,487.7	32,635.6	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	漏水調査	調査件数	件	51,972	45,067	52,000
		漏水調査	調査距離	km	488	448	494.4
	成果分析	有収率	有収水量/配水量×100	%	目標値 100	100	100
				実績 97.22	98.01	実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2
				% 達成率 97.2	98.0		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	明らかとなった課題	布設替事業が進み、道路漏水は減少しているが、高い有収率を維持していくために、精度の高い夜間調査を増やし、早期発見に努める。	委託業者	見直しの必要性
	評価理由	漏水調査は、水道事業の効率性や信頼性の向上に必要な不可欠な事業で、当市における有効率や有収率は、他市と比較しても良い結果が得られている。今後も事業全体の効果性を意識しつつ、継続的に行う必要がある。	受益者負担の有無	見直しの必要性

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性									
	事前評価	部内優先順位… 5 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業			
	評価理由	全国的にみても本市の有収率は高く、評価する。この率の維持に努めるべきものとする。なお、予算については効果的・効率的活用に努め、漏水のより早期の発見を目指すべきものとする。						<input checked="" type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業			
	評価日	9月1日						<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			